

No.	件名・内容	回答
6	<p>子宮頸がんワクチンについて</p> <p>近隣の市町村では、18歳の女子に対する子宮頸がんワクチンの接種費用の補助があるそうです。上尾市ではどのような対策がなされるのでしょうか。</p> <p>(受付No.) 24_2175 (受付日) 平成24年8月30日</p>	<p>子宮頸がんワクチンは、予防接種法に基づく定期の予防接種ではなく、保護者の希望により接種する任意のもので、補助についても市町村独自の判断とされています。本市では、このワクチンを接種したことで失業者が出た例も考慮し、他市の状況や医学的なメリット等を上尾市医師会と調整した結果、平成23年度から対象を中学1年生から高校1年生までの年齢（昨年度時点で接種を開始している場合は高校2年生まで）として、予防接種の補助対象とする施策をとっています。</p> <p>国立がんセンターの資料によると、子宮頸がんの主な原因は、発がん性をもつヒトパピローマウイルス（HPV）で、100種類以上あるHPVの中で15種類、そのうち16型、18型という2種類の型が約60%を占めているとされています。現在、使用されているワクチンは、その一番多い型である16型、18型のみを防ぐワクチンであり、接種をすることで子宮頸がんにかかるリスクは軽減しますが、全ての型を防げるわけではありません。</p> <p>また、HPVは性交渉により感染します。本ワクチンは、既に感染したHPVを排除したり、がんを治癒するものではないため、性交渉前の接種が一番効果的であるとされており、補助についても高校1年生までとさせていただいております。</p> <p>なお、子宮頸がん予防ワクチンを接種したとしても、発がん性HPVに感染する可能性があるため、子宮頸がん検診を受信して、前がん病変（がんになる前の異常な細胞）のうちに発見することが重要であると考えております。市で実施している子宮頸がん検診は、20歳から受診できますので、ぜひ、市の検診制度を利用させていただきますようお願いいたします。</p> <p>(担当) 健康推進課（直通）774-1411</p>
5	<p>金婚・ダイヤモンド婚式典の開催について</p> <p>介護保険料が3割アップする中、市民の税金を使用して式典を開催することに疑問を持っています。</p> <p>(受付No.) 24_2158 (受付日) 平成24年8月8日</p>	<p>金婚・ダイヤモンド婚式典は、昭和63年より結婚50年または60年を迎える夫婦の長寿を祝福し、夫婦の絆を再確認することを目的として実施してまいりました。この式典は、25年間という長きに渡り続けている事業で、毎年、開催を心待ちにしているご夫婦もたくさんいらっしゃいます。半世紀以上、ともに支えあって長い時間を歩んでこられたご夫婦へのお祝いですので、何卒ご理解くださるようお願いいたします。</p> <p>しかしながら、今後ますます加速していく高齢化社会に伴う財政負担の増加という現状を踏まえ、高齢者施策全体を見直す中で、今後の事業のあり方について検討していきたいと思っております。</p> <p>(担当) 高齢介護課（直通）775-5124</p>

No.	件名・内容	回答
4	<p>小児夜間救急病院について</p> <p>平日夜間及び休日急患診療所の小児夜間診療を拡充してほしい。</p> <p>(受付No.) 24_2156 (受付日) 平成24年8月6日</p>	<p>市では、初期救急医療として平日夜間及び休日急患診療所を開設し、医師会の協力を得て、小児科診療を土曜日を除く平日の夜間（午後8時から10時）と、休日の日中（午前9時から12時、午後1時から4時）に、受付は最終時間の30分前までとして診療を行っています。</p> <p>近年、小児科医の不足が全国的に深刻な問題となっている中で、平日夜間の診療時間の延長や、土曜日や休日の夜間診療が実施できていない状況です。今後も医師会と協議を重ねていき、診療時間等の拡大を図っていきたいと考えています。</p> <p>また、二次救急医療は、上尾中央総合病院（月、木、金曜日）と北里メディカルセンター病院（水、土曜日）で対応し、三次救急医療は、さいたま赤十字病院となっています。対応できていない曜日については、鴻巣保健所を中心とした保健所管内の4市1町（上尾市、鴻巣市、北本市、桶川市、伊奈町）で連携し、病院への働き掛けてを行っているところです。更に、県は平成28年度末までに空白日を解消するよう検討を重ねています。今後は、県と連携・協力の上、1日も早い空白日の解消に向けて努力していきたいと考えております。</p> <p>なお、こどもの急な病気に困った場合は、「小児救急電話相談（#8000または、833-7911）」へご連絡いただければ、家庭での対処法や受診の必要性について、看護師が相談に応じていますので、ぜひご利用ください。</p> <p>(担当) 健康推進課（直通）774-4111</p>
3	<p>ヘルパーのサービス料について</p> <p>ガイドヘルパー、ホームヘルパー利用料を見直してほしい。</p> <p>(受付No.) 24_2116 (受付日) 平成24年7月10日</p>	<p>ホームヘルパー制度の利用者負担額は、障害者自立支援法で定められており、支給サービス決定された利用料の1割が自己負担となっていますが、その後の国の法改正により、非課税世帯に関して自己負担が0円としたところです。</p> <p>現在、利用者負担額の変更などについての法改正はございませんが、今後も、制度の内容を注視してまいります。</p> <p>(担当) 障害福祉課（直通）775-5122</p>
2	<p>児童館にある教材の貸し出しについて</p> <p>市内にある児童館には、たくさんの保育教材がありますが、例えば、パネルシアター、紙芝居などを、保育施設に従事している者に無償で貸していただけないでしょうか。</p> <p>(受付No.) 24_2082 (受付日) 平成24年6月28日</p>	<p>児童館にある教材は、児童館が主催する事業のための備品という位置付けで、現状では貸し出しを想定したものではありません。</p> <p>しかしながら、今後の児童館運営の課題の一つとして検討していきたいと考えております。</p> <p>(担当) 青少年課（直通）776-2488</p>

No.	件名・内容	回答
1	<p>がん検診の対象年齢について</p> <p>市のがん検診を受診できる年齢を引き下げてほしい。</p> <p>(受付No.) 24_2040 (受付日) 平成24年5月16日</p>	<p>厚生労働省のがん検診の指針によりますと、子宮がん検診の対象者は20歳以上で、そのほかのがん検診は40歳以上とされており、上尾市でも指針に基づいた対象範囲内ではがん検診を実施している状況です。</p> <p>ご指摘のとおり、検診はがんの早期発見という目的を持っており、若い年代でのり患もあることから、早い時期での検診の必要性は高いと考えます。</p> <p>市いたしましても、若い年代からの検診のメリット・デメリット、死亡減少効果について、医師会等、関係機関との協議・調整を行い、実施に向けて検討していきたいと考えております。</p> <p>(担当) 健康推進課 (直通) 774-1411</p>